

健康 ぷらざ

女性が自分の意志で... - 低用量ピル -

企画：
日本医師会

No. 66

指導：前 東京慈恵会医科大学産婦人科教授

寺島 芳輝

低用量ピルとは？

いわゆるピルとは、避妊を目的とした内服用錠剤のことです。これまでのピルは血栓症や虚血性心疾患などの副作用が問題視されてきましたが、低用量ピルは、錠剤中のホルモン量を少なくすることによって、これらの副作用を軽くし、しかも従来のピルと同じ避妊効果を得られるようにしたものです。すでにアメリカやヨーロッパの諸外国では発売になっていましたが、わが国ではこのほど発売され、関心を集めています。

性感染症には注意を

ピルは妊娠を望まない女性が、自分の意志で自由に避妊できるという意味で、新しいライフスタイルに合った画期的な避妊薬といえます。しかし、エイズやクラミジアなどの性感染症に対してはまったく効果がなく、無防備ということを知っておかねばなりません。感染防止にはコンドームを使う必要があります。



医師とよく相談しましょう

低用量ピルは医師の処方せんが必要な薬です。医師の説明をよく聞き、相談し、納得してから服用してください。2日以上飲み忘れると避妊の効果がなくなりますから、毎日きちんと服用することが大切です。

また、副作用はほとんど心配がなくなったと

はいえ、軽度のおつわりのような症状や少量の出血、ごくまれに血栓症などの副作用が現れる場合があります。このような理由で、服用期間中は定期的に医師の診察を受ける必要があります。

低用量ピルが生活にプラスになるかどうかは、使う方が慎重に判断しなければなりません。

ホームページアドレス
<http://www.takeda.co.jp/>

産科婦人科専門医による監修、最新情報を掲載しています。